

《 産業医科大学病院広域連携型プログラム臨床研修ローテート方式 》

(1) 臨床研修ローテート例

ローテート例 1（他学出身者および本学出身者向け）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科						救急部門		選択科		小児科	産婦人科

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
2 年次	外科	一般外来	地域医療	神経精神科	小波瀬病院						選択科	

ローテート例 2（他学出身者向け）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科						選択科	外科	産婦人科	小児科	救急部門	

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
2 年次	地域医療	一般外来	産業保健 A (認定産業医申請資格を取得可)		小波瀬病院						神経精神科	選択科

ローテート例 3（本学出身者向け）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	救急部門		内科						選択科	小児科	産婦人科	外科

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
2 年次	産業保健 B (修学資金返還年数を1年短縮可)		一般外来	地域医療	小波瀬病院						神経精神科	選択科

(2) 臨床研修ローテーション科の内訳

1. 小波瀬病院（2年次に24週〔6か月〕ローテーション。ローテーション科は後記。）

2. 必修科目

- ① 内科（膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科、循環器内科 腎臓内科、消化管内科 肝胆膵内科、脳神経内科・心療内科、呼吸器内科、血液内科、脳卒中血管内科のいずれか3科を選択）
- ② 救急部門（救急・集中治療科、麻酔科）
- ③ 地域医療（戸畑総合病院または吉水内科）
- ④ 外科（消化器・内分泌外科、呼吸器・胸部外科、心臓血管外科のいずれか1科を選択）
- ⑤ 小児科
- ⑥ 産婦人科
- ⑦ 神経・精神科
- ⑧ 一般外来（産業医科大学病院・総合診療科外来研修プログラム、北九州市立八幡病院・一般外来研修プログラム、戸畑総合病院・総合診療研修プログラムまたは小波瀬病院・一般外来研修プログラム）

2. 選択科目

- ① 内科系：膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科、循環器内科 腎臓内科、消化管内科 肝胆膵内科、脳神経内科・心療内科、呼吸器内科、血液内科、脳卒中血管内科、皮膚科、神経・精神科、小児科
- ② 外科系：消化器・内分泌外科、呼吸器・胸部外科、心臓血管外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、形成外科
- ③ その他：リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、救急・集中治療科、集中治療部、病理診断科、総合診療科、地域医療（戸畑総合病院または吉水内科）、一般外来（北九州市立八幡病院・一般外来研修プログラムまたは戸畑総合病院・総合診療研修プログラム）、産業保健（A、B）

協力型病院：小波瀬病院、北九州市立医療センター、北九州市立八幡病院、北九州総合病院
JCHO 九州病院、九州労災病院、健和会大手町病院、済生会八幡総合病院、
製鉄記念八幡病院、戸畑総合病院、門司メディカルセンター

臨床研修協力施設：吉水内科、勝山クリニック、福岡産業保健総合支援センター、西日本産業
衛生会北九州産業衛生診療所、牧山療養院、牧山いわき苑、金刀比羅診療所

(2) 臨床研修ローテーションの条件

1. 2年次に小波瀬病院を24週（6か月）ローテーションする。同院臨床研修プログラムは後記。
2. 臨床研修開始時に約2週間の臨床研修入門コースを設ける。
3. 産業保健Aおよび産業保健Bを含め、産業医科大学病院でのローテーション期間は、必ず1年以上とする。
4. 必修科目として、1年次に内科（24週：8週ずつ異なる3科をローテーション）、救急部門（8週）を、2年次に地域医療（4週）および一般外来（4週）をローテーションする。
*必修科目の内科に、脳神経内科・心療内科と脳卒中血管内科の両方を選択することはできない。
5. 必修科目として、外科（4週以上：消化器・内分泌外科、呼吸器・胸部外科、心臓血管外科のいずれか1科目）、小児科（4週以上）、産婦人科（4週以上）、神経・精神科（4週以上）を1年次または2年次にローテーションする。
6. 必修科目の内科24週は、8週ずつ異なる3科をローテーションするが、その際、産業医科大学病院または協力型病院のいずれか、更に両者（例：産業大学病院16週＋協力型病院8週）のローテーションも可能とする。
7. 産業医科大学病院で必修科目の救急部門をローテーションする場合は、救急・集中治療科および麻酔科を4週ずつ連続してローテーションし、且つ2年間で20回以上救急（・集中治療）科当直をすることで、必修科目の救急部門12週をローテーションしたとみなす。
8. 協力型病院または産業医科大学病院＋協力型病院で必修科目の救急部門をローテーションする場合は、救急（・集中治療）科4週＋麻酔科4週＋2年間で20回以上の救急（・集中治療）科当直、または救急（・集中治療）科8週＋2年間で20回以上の救急（・集中治療）科当直で、必修科目の救急部門12週をローテーションしたとみなす。
9. 特殊な事情（病休や病気による当直制限等）により2年間で20回以上の救急（・集中治療）科当直が達成できない場合は、別に救急（・集中治療）科を4週ローテーションする必要がある。
10. 必修科目を協力型病院でローテーションする場合は、産業医科大学病院の診療科に準ずる科を選択することができる（例：産業医科大学病院の消化器・内分泌外科⇔協力型病院の消化器外科）。

臨床研修協力施設（小波瀬病院を除く）での研修期間は、2年間で12週以内とする。